

【研究シーズテーマ】

IoTリモートセンサ信号処理技術

 工学部 電子情報工学科 教授 **小池 正記**


工学

Keyword
**センサネットワーク／信号処理／エネルギーハーベスト／
ニューラルネット**


【研究シーズの概要】

車や産業機器の自動運転技術、医療分野などにおいて、IoTリモートセンサ技術が多様な形で用いられています。さまざまなセンサを用いてネットワークを構築し、リアルタイムで解析することにより、新たな価値につながる情報を生み出すことができます。このため、新たな規格に基づいたセンサネットワークと、グラフィックユーザーインターフェイスを用いたプラットフォームの開発を進めています。



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 安価で多様なZigBee規格に基づいたセンサーネットワークの実現
- LabVIEWによるユーザーフレンドリーなグラフィックインターフェイス
- ニューラルネットを用いたデータ処理

【産業界での展開・用途】

- 計測・制御の自動化、高機能化など
- 簡便な画像認識による製品の状態の把握、制御など

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp